

それにしても  
モーグローという  
男……



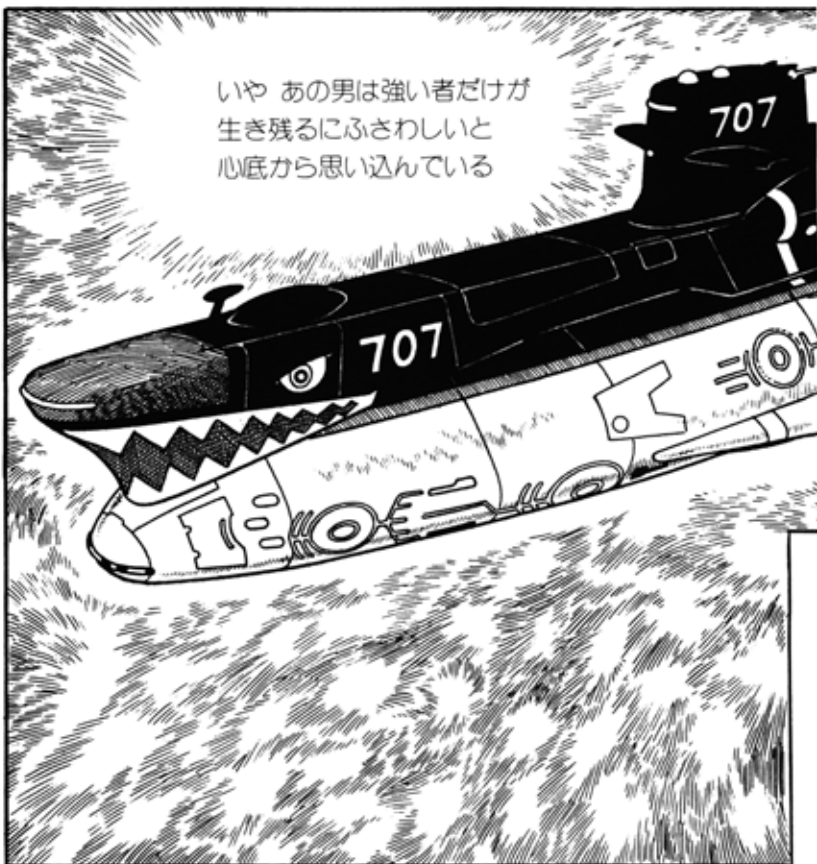
地球を崩壊させて  
しまえば 元も子も  
ないだろうに  
なぜ……？



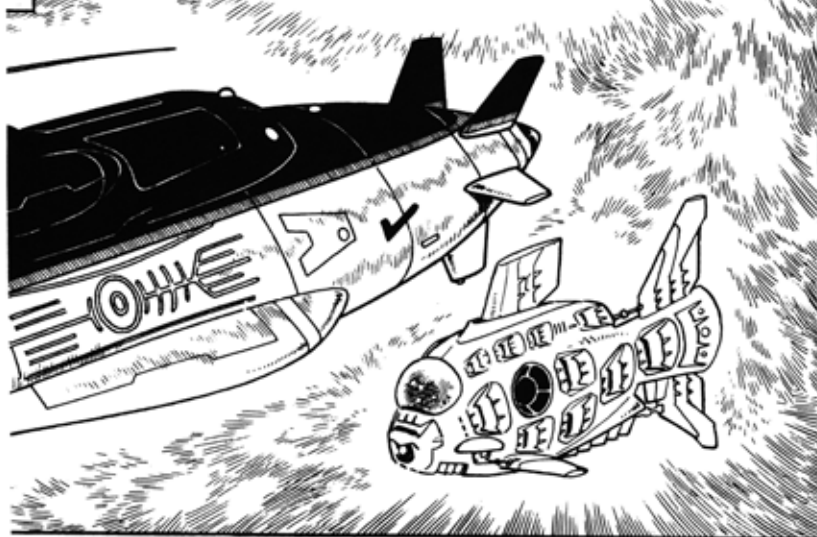
権力欲に溺れた  
ただの欲ボケ亡者  
なのか



いや あの男は強い者だけが  
生き残るにふさわしいと  
心底から思い込んでいる



自分に従う者だけを選んで  
ヌイシロマに避難移住することを  
企んでいる ヌイシロマの完成の  
ために これまで以上にマグマの  
盗掘に拍車をかけている



人工惑星だな  
そいつが移住可能に  
なるのはいつだ……？



で 完成したら  
地球の残りの寿命は？

完成まで3年  
そのあと2年で  
地球は崩壊





あと5年!?

アタ!

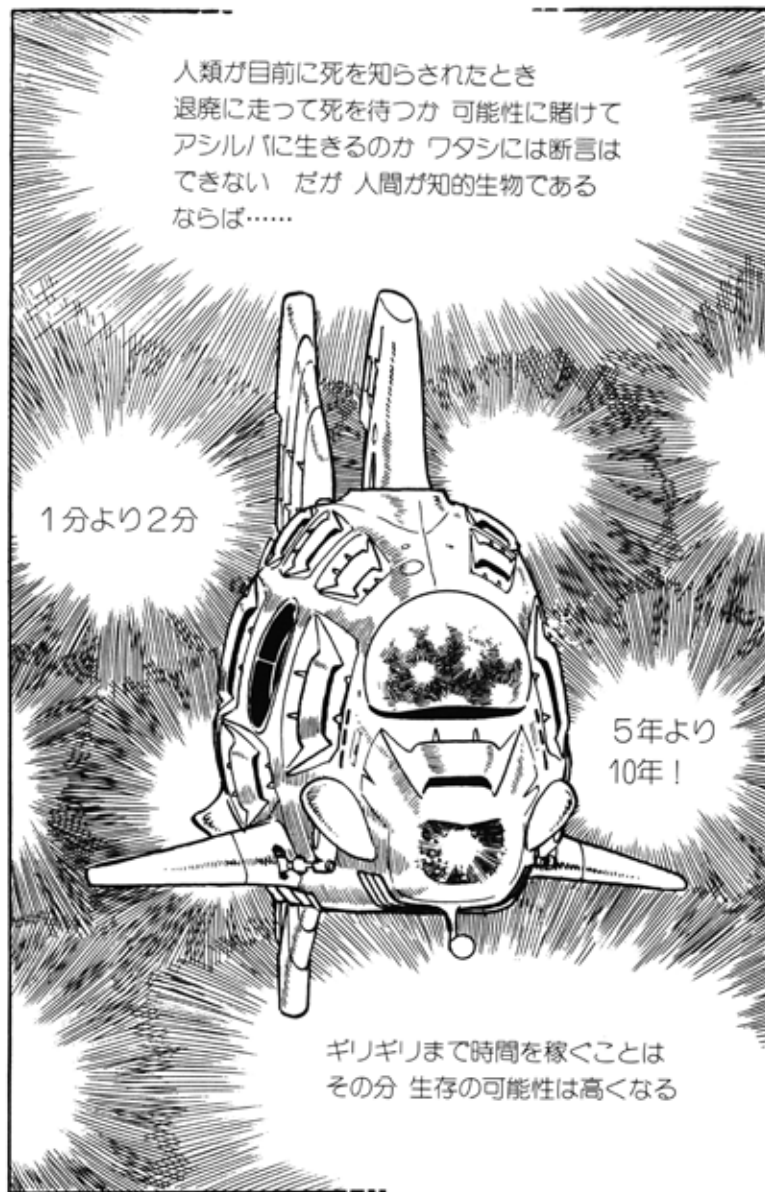
そりゃあ  
ないだろ

今すぐマグマの汲み  
上げを阻止すれば  
20年の時を稼げる

たった5年じゃ 何の手当ても  
できやしないだろが

20年! 20年地球の  
命が長らえて どうだ  
というんだ 5年の命が  
20年に延びたとして

新たな可能性  
でも 出てくるか  
……え?.



人類が目前に死を知らされたとき  
退廃に走って死を待つか 可能性に賭けて  
アシルバに生きるのか ワタシには断言は  
できない だが 人間が知的生物である  
ならば……

1分より2分

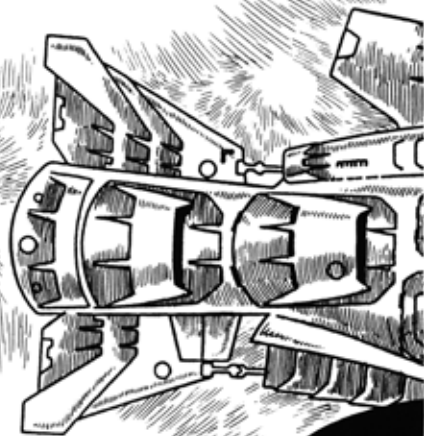
5年より  
10年!

ギリギリまで時間を稼ぐことは  
その分 生存の可能性は高くなる

地球の存亡の危機に臨んで  
人類がどれだけアシルバの  
ために 才智を注げるか……  
いかに結束できるか！

そして……

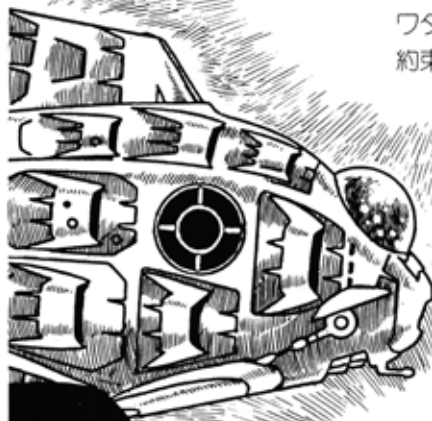
二つの人類が  
共通の危機に立ち向かう  
ために 手を取り合い  
アシルバのために  
同盟を結ぶことも……

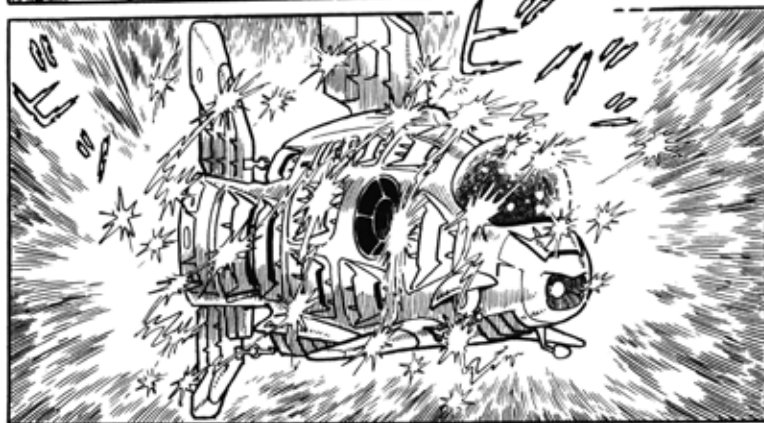


生存の可能性をおし広げる  
要素になるでしょう  
アシルバのために  
「深海異星間同盟」の成立を  
目指して その工作のため  
ワタシは<sup>はい</sup>渾身の努力を  
約束する……

艦長 あなたはその“時”を  
稼ぐために アーマゲドンに  
立ち向かう約束をして下さい  
これが最初の“核”となる  
小さな……

深海異星間同盟





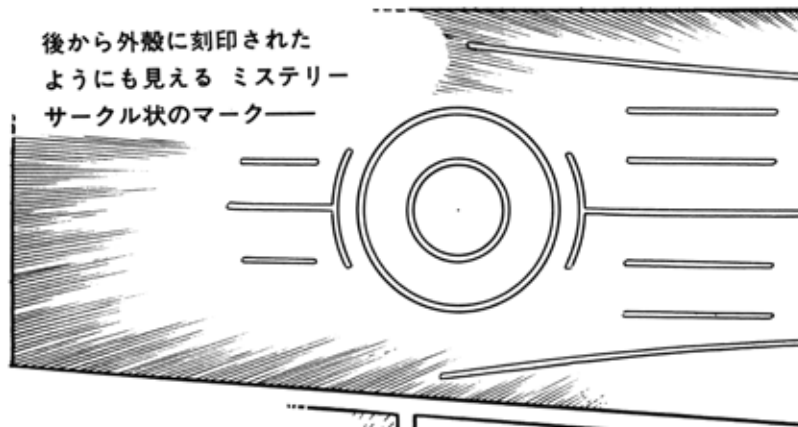
茶衣香のことは  
救出の方法を探っ  
てみることにする

その時 また連絡しよう  
艦長 間もなく窓が開く  
お互い アシルバのために

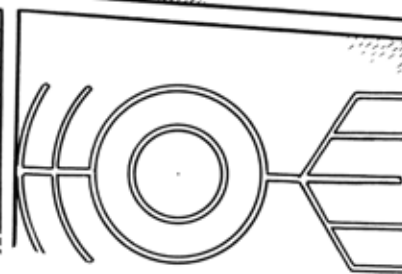
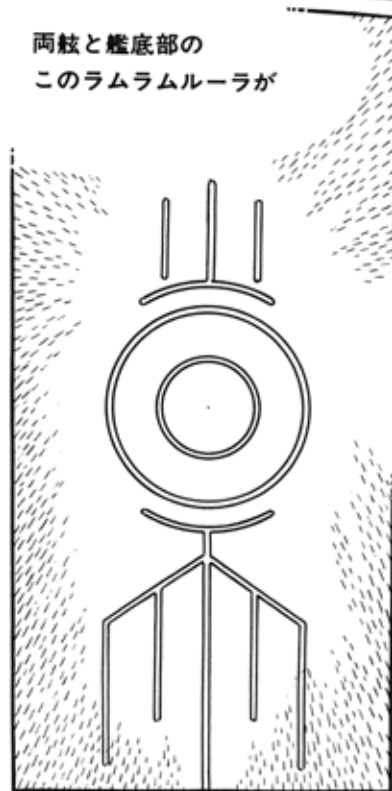




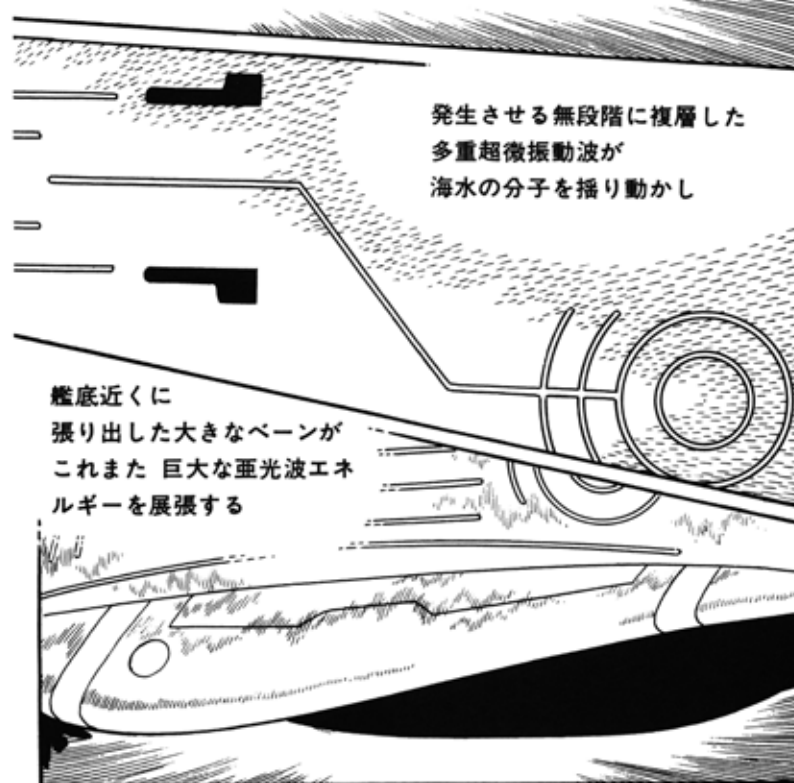
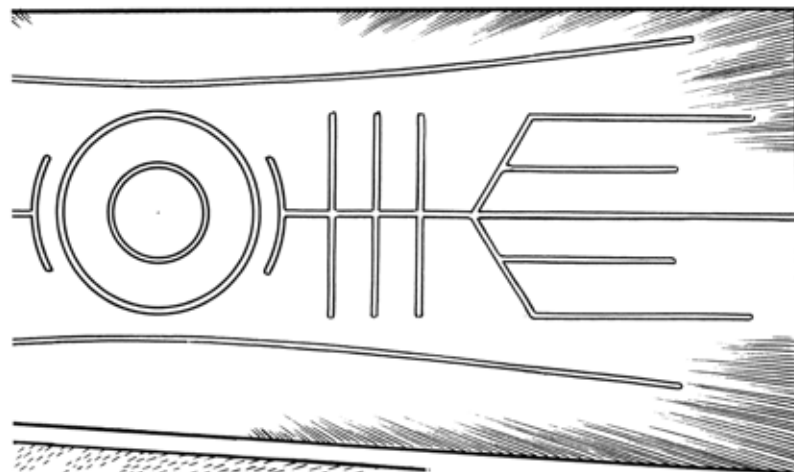
後から外殻に刻印された  
 ようにも見える ミステリー  
 サークル状のマーク——



両舷と艦底部の  
 このラムラムルーラが



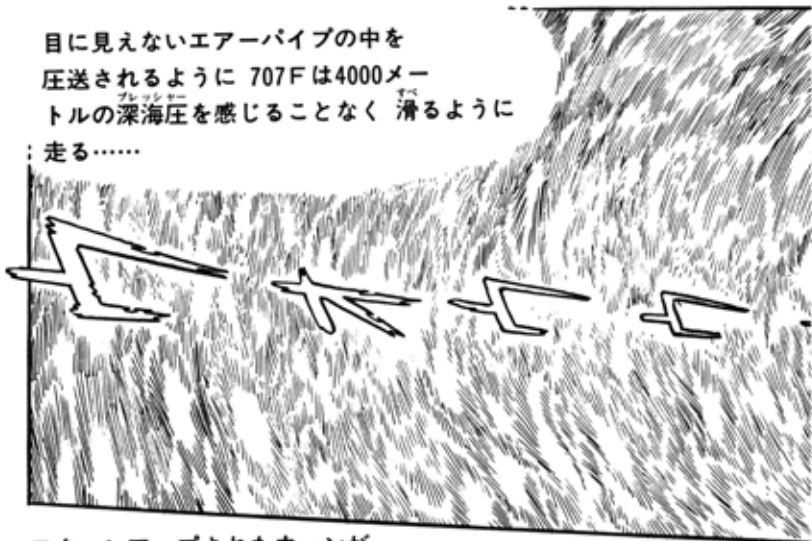
セイル基部の  
 両舷に突き出た  
 ウェンに呼応して



発生させる無段階に複層した  
 多重超微振動波が  
 海水の分子を揺り動かし

艦底近くに  
 張り出した大きなベーンが  
 これまた 巨大な亜光波エネ  
 ルギーを展開する

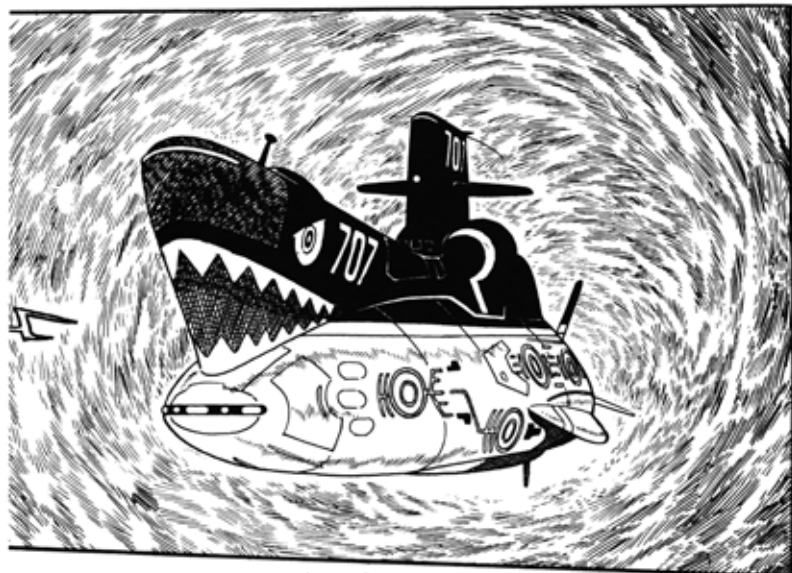
目に見えないエアースパイブの中を  
 圧送されるように 707Fは4000メー  
 トルの深海圧を感じることなく滑るように  
 走る……



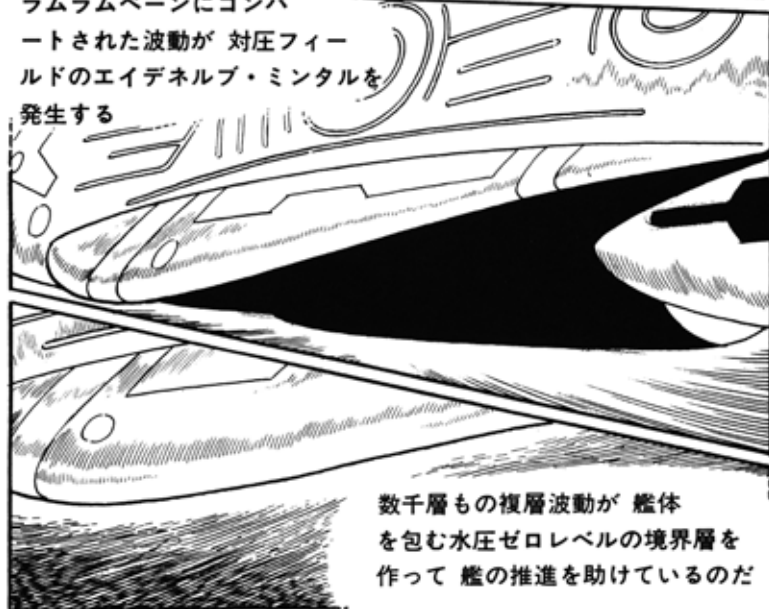
コクーンアップされたウェンが  
 最初に深海圧に反応し その微動  
 波が 内にマウントされたラムラムホルム・  
 エンジンを起動させ



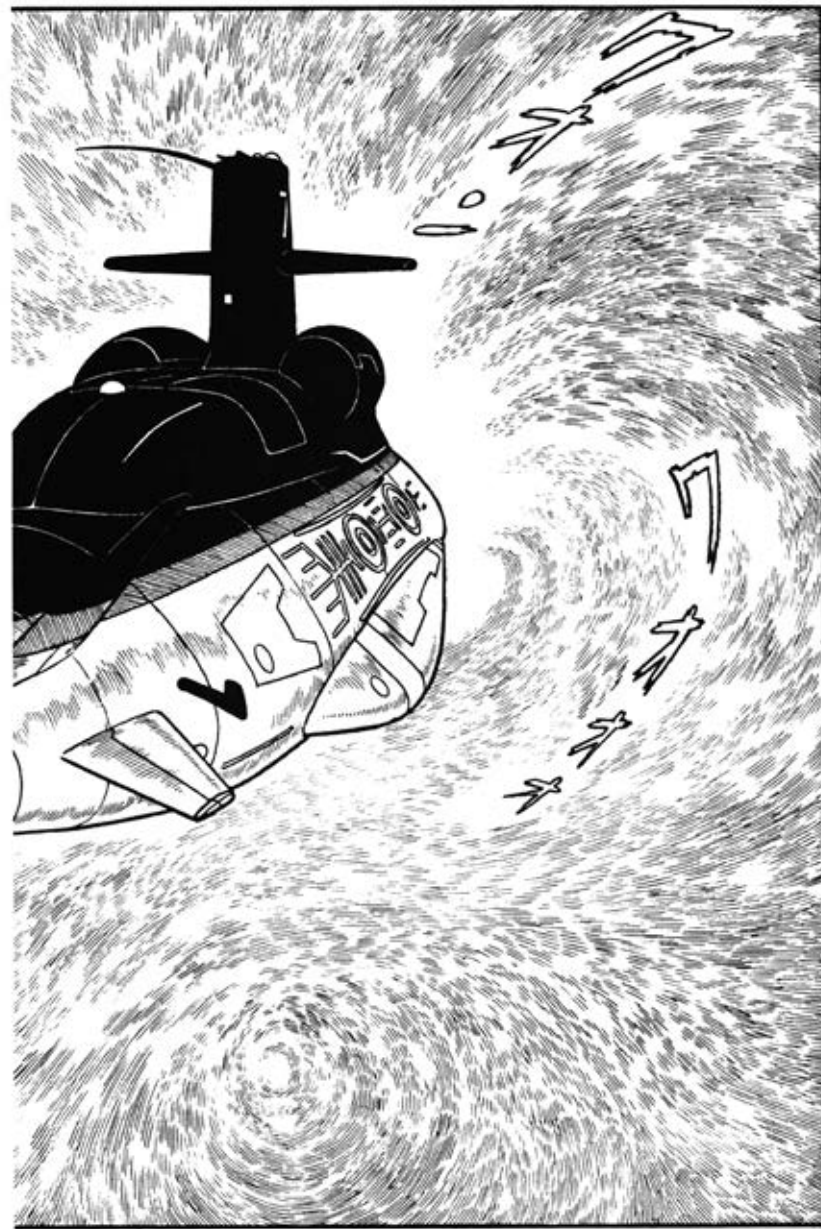
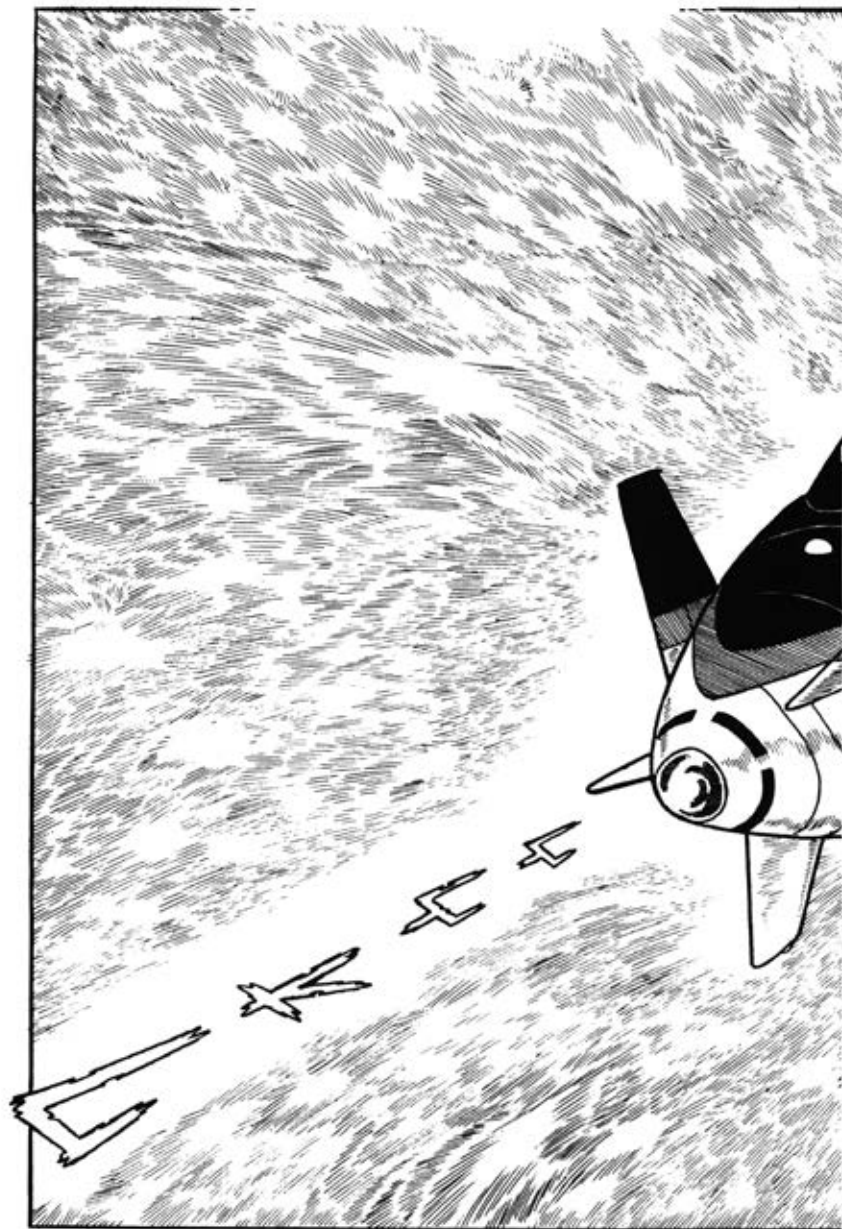
無数のトラймラインを通じて  
 ラムラムルーラを伝えられると  
 さらに数千倍に増殖された  
 波動が推力を生む



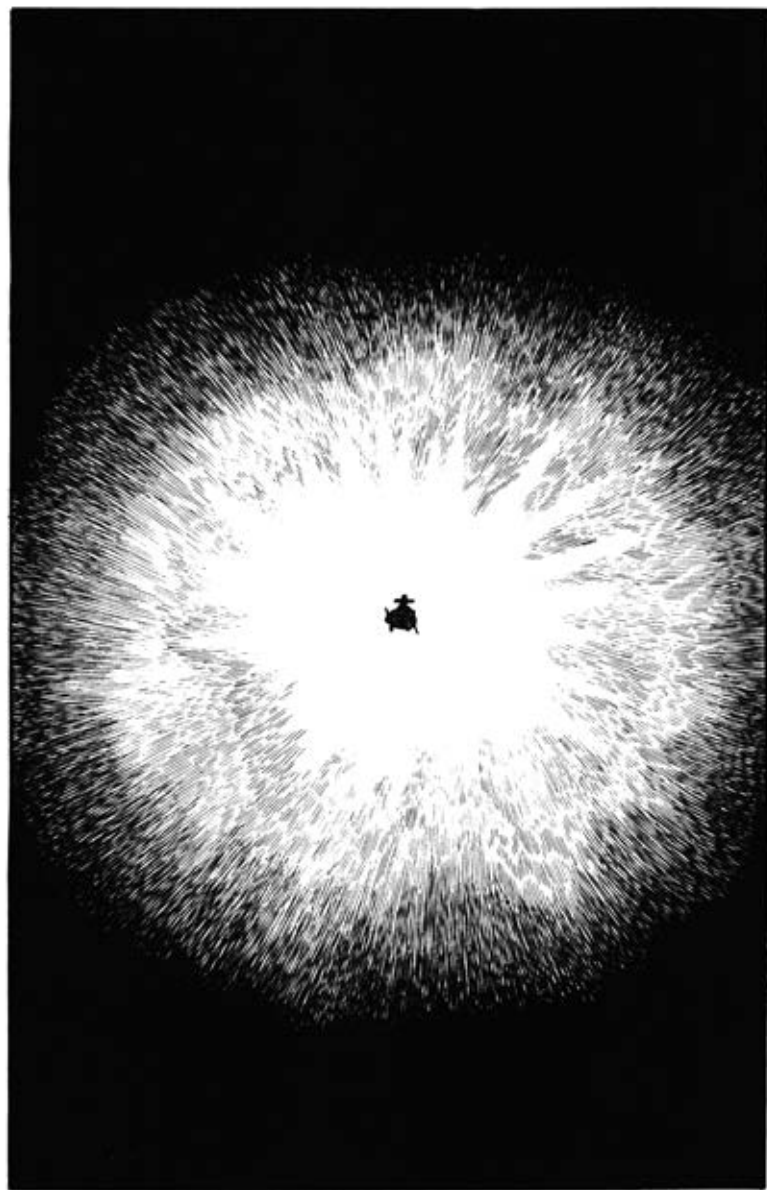
ラムラムベーンにコンバ  
 ートされた波動が 対圧フィー  
 ルドのエイデネルブ・ミンタルを  
 発生する



数千層もの複層波動が 艦体  
 を包む水圧ゼロレベルの境界層を  
 作って 艦の推進を助けているのだ







ダクトの中のヴォストーク